

平成25年度

南越前町有害鳥獣捕獲状況報告

問合せ 産業振興課 ☎ 47-8001

猟友会南越前支部および南越支部の隊員の方々と、集落のみなさんのご協力のもと、春先から有害鳥獣捕獲事業を実施してきました。捕獲数は次のとおりで、イノシシは近年のうち最も多い140頭となりました。しかし、農林水産被害は深刻であり、継続して有害捕獲事業を実施していかなければなりません。また、集落内での追い払いや自己防衛(進入防止柵)も欠かせません。今後ともご理解とご協力をお願いします。

狩猟期間

●ニホンジカ、イノシシ

11月1日～3月15日

(11月1日～11月14日、および
2月16日～3月15日は、わな猟に限る)

●ニホンジカ、イノシシ以外の鳥獣

11月15日～2月15日

狩猟期間とは、狩猟者(狩猟免許を有し、県に登録した方)が、銃や網、わなを使用して狩猟鳥獣を捕獲できる期間のことです。県内でも、過去に銃や猟犬による人身事故が発生していますので、期間中、野山に出かける際は十分注意してください。

なお、狩猟者以外の方が銃や網、わなを使用して鳥獣を捕獲することは法律で禁止されています。所有地内であっても檻などを仕掛けしないでください。

野山に出かける場合は次のことに注意!!

- ◎目立つ色の服装を心がけてください。
- ◎鈴や笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、狩猟者やクマなどに自分の存在を知らせましょう。
- ◎わなを見つけても危険なので絶対に近づかないでください。



有害鳥獣捕獲によって駆除されたイノシシ

有害鳥獣捕獲数(10月31日現在)

単位：頭・羽

	イノシシ	サル	ハクビシ類	鳥類	計
南条地区	22	0	10	15	47
今庄地区	84	4	28	3	119
河野地区	34	0	3	—	37
合計	140	4	41	18	203

新ごみ処理焼却施設 建設候補地の調査の実施について

南越清掃組合第1清掃センター(越前市北府)のごみ処理焼却施設は、稼働後約30年が経過し老朽化が進み、安定的な運転が困難になる恐れがあるため、新たに建設することになりました。

当組合を構成する自治体間で役割を担うという観点から、既に施設がある越前市を除いた南越前町と池田町で建設候補地を検討し、効率性や運営コストなどを考慮した結果、南越前町が施設立地を承認しました。

建設候補地として、金粕川の北陸自動車道寄りの一部の圃場を調査することに関して、地元(上野区)の同意を得ることができました。

今後、建設候補地において、地質調査、測量調査、環境影響調査などを実施し、安全で安心した施設建設に向けて地元同意を得ながら事業を推進していきます。

なお、各種調査開始から建設工事完了までには6～7年を要します。

新ごみ焼却施設整備基本計画(案)の基本方針

- 「ごみ減量化、リサイクル」を前提とした、適正規模で効率的な施設
- 最新の技術を導入し、環境に優しい安全安心な施設
- 周辺環境に調和した、地域と循環型社会の形成に貢献する施設

ごみ処理焼却施設は、地域住民の生活にとって必要不可欠です。皆さんのご理解ご協力をよろしくお願いします。



問合せ

建設整備課 ☎ 47-8003
南越清掃組合 TEL 22-2636